

## 第二次町田市環境マスタープラン等の 2019年度進捗状況の点検評価への対応

### 基本目標 1

提案事項	対応
再生可能エネルギーについては、市民や民間の自発的な取り組みが大きな役割を持ちつつあることを考えると、市による情報提供や間接的支援だけでなく、市民や事業所がやっている活動や成果が反映されるような協働体制や評価指標が必要である。	〈検討中〉 新たな計画「第3次町田市環境マスタープラン」（以下「次期計画」）の策定に向けて検討を進めています。 再生可能エネルギーについて、次期計画では市民の活動が反映されるものとして「市内の再生可能エネルギー導入量」を成果指標に設定する予定です。
特別緑地保全地区の拡大は目標値を上回っているが、基本目標 2 でも重要なもので今後も進めて欲しい。	〈検討中〉 特別緑地保全地区の拡大については、次期計画の中では「市の主な取組」として、基本目標1の中に記載し、今後も取り組みを推進していく予定です。
「脱炭素（低炭素化）」は地球規模での大きな課題であるので、「市民一人あたりの二酸化炭素排出量」の指標に対する注目度・関心度を引き続き高める取り組みを期待する。	〈対応済み〉 「市民一人あたりの二酸化炭素排出量」への注目度・関心度を高めることにも繋がる取り組みとして、SNSや「わたしのエコ宣言」事業にも力を入れました。
EV（電気自動車）の普及拡大は、脱炭素（低炭素化）だけでなく、災害時（長期停電時）における蓄電池の役割も果たすため、環境面に加え防災時の備えの必要性の観点からも推進してはどうか。	〈検討中〉 電気自動車の普及拡大については、次期計画の重点プロジェクト「次世代自動車等の積極的な導入と多面的な活用」の中で、災害時の非常用電源としての観点からも推進をしていく予定です。
今の自分の生活スタイルを少し変えるだけでできる環境への対策(緑のカーテン・エコドライブなど)を町田市民の方々に浸透させる取り組みを推進してほしい。	〈対応済み〉 エコドライブを普及・浸透させる取り組みとして、新たに「エコドライブステッカー」を作成し、配布を行いました。
地球温暖化対策について市民が実感を持てるよう見える化をお願いしたい。	〈検討中〉 地球温暖化対策等、次期計画では見える化を意識した成果指標の設定をする予定です。
市の施策や啓発も重要であるが、今後は市民との役割分担をどう施策に盛り込み協働を図るかも必要となってくる。	〈検討中〉 取り組みに関する市民との役割分担については、次期計画では、施策ごとに市民・事業者・行政それぞれが取り組んでいく内容を記載し、役割分担をわかりやすくしています。
次期マスタープランでは施策に左右されない評価指標を検討導入することで、達成状況の評価を継続できるようにすべきである。	〈検討中〉 次期計画の成果指標については、施策の変更・終了等に左右されず継続して測ることのできる指標を設定する予定です。

## 基本目標 2

### 第二次町田市環境マスタープラン

提案事項	対応
『生き物×環境×スポーツ』などテーマを組み合わせたイベントなどを開催して関心度を高めていく施策も可能ではないか。	〈対応済み〉 テーマを組み合わせたイベントについては、SDGsを軸にしたイベントを、町田マリイ・モディと協働で、各部署との連携も図りながら開催しました。

### 町田生きもの共生プラン

町田の自然環境に関心の低い層に向けて「生きもの発見レポート」の成果を反映させて、川辺の道路沿いなどにプレート掲示するなど、身近な町中に生物多様性情報発信の拠点を作ってはどうか。	〈対応済み〉 生きもの発見レポートに投稿いただいた写真について、SNSでハッシュタグ等を工夫し、自然環境に関心の低い層に向けても発信を行いました。 また、市内5か所の公園に「生きもの情報コーナー」という生物多様性情報発信の拠点を設置しました。
活動団体の市民と市の職員が顔を見せあい信頼関係を持つきっかけとなる場を増やす必要性を感じるので、生きもの共生フォーラムなどはそうした機能を担って欲しい。	〈検討中〉 生きもの共生フォーラムについて、環境活動団体の情報交換の機会を設定するなど交流の場として機能する形で開催します。
ビオトープ作庭は、環境教育になるだけでなく、都市の生物多様性拠点となる飛び石ビオトープの一部を町中に作り、また雨水の貯留場所として気候変動適応策にもなることでもあり、市内の全小学校で進めて欲しい。	〈検討中〉 ビオトープの普及・拡大を進めるため、2021年度は「生きもの発見レポート」と連動してビオトープの写真を募集し、市民等への周知を図る予定です。 ビオトープ作庭については、引き続き取り組みを検討していきます。
より多くの市民が自然環境の良さや重要性に気づききっかけや季節を味わえる機会を創り、自然や生き物と共生するノウハウを提供して欲しい。	〈対応済み〉 薬師池公園でのザリガニ釣りや自然観察会などのイベントを開催し、より多くの市民・子供たちが自然環境に触れる機会を作りました。引き続きこうした取り組みを行い、自然環境の良さや重要性に気づききっかけ等を提供していきます。

### 基本目標 3

提案事項	対応
<p>市民や事業所が、協力したことで実感を持てるようなしくみや指標が必要なのかも知れない。</p>	<p>〈検討中〉 次期計画の成果指標に市民の取り組みが直接反映されるものとして「1人1日当たりごみ排出量」を設定する予定です。</p>
<p>排出事業者への適正な指導も今後、継続的に実施の上、商工会議所や市内業種団体との懇談会や説明会の場面をつくり、さらなる連携強化を図る必要がある。</p>	<p>〈検討中〉 適正排出のための情報提供、訪問指導や講習会等の実施を行っておりますが、次期計画においても事業者等とのさらなる連携強化のため、継続した取り組みを実施していきます。</p>
<p>新型コロナウイルスの影響により、外食の機会が減り、家庭での食事の機会の増加が見込まれることから、家庭での食品ロス削減の啓発に力を入れるのが効果的ではないか。</p>	<p>〈対応済み〉 家庭での食品ロス削減の啓発については、ホームページや出前講座等で普及・啓発を行いました。</p>
<p>新型コロナウイルスの影響等でしばらくはイベント等の開催は困難と思われることから、ホームページやSNS等を活用した取り組みを積極的に展開してもらいたい。</p>	<p>〈対応済み〉 2020年度から新たにYouTube等を活用し、ごみに関する啓発を行いました。</p>

## 基本目標4

提案事項	対応
<p>市民アンケート調査結果から、周辺環境について犬のふん、猫の外飼いやポイ捨てなどの不満が多く、市民マナーの向上にむけた施策も求められる。</p>	<p>〈検討中〉 ポイ捨て等の啓発として、次期計画でも「環境美化活動の推進」を市の取り組みとして行っています。</p>
<p>高度水処理を達成すると、大気や水質については、都市環境として、これ以上の改善は飽和状態になっているように見えるので現状の大気や水質を達成目標とするのはふさわしくないと考えられ、今後の目標としては景観、ノンポイント汚染、ヒートアイランド、騒音などを視野に入れた指標を考えた方が良いのではないか。</p>	<p>〈検討中〉 次期計画では、良好な生活環境維持の達成状況を測るための指標として、大気や水質を設定するとともに、騒音に関する環境基準も追加する予定です。</p>

## 基本目標5

提案事項	対応
<p>市民アンケートの結果をみると、特にエネルギー対策、地球温暖化、ごみの減量・資源化への関心が高いので、エネルギー対策・地球温暖化対策では節電と再エネの選択の、ごみの削減では、販売または使用を減らすことの重要性を市民に啓発してほしい。</p>	<p>〈対応済み〉 エネルギー対策や地球温暖化対策については、イベント内での水素カーの周知、相模原市とのコラボ企画としてライトダウンなどを実施しました。ごみの減量・資源化については、YouTubeを活用して3Rの取り組みを紹介するなど新たな取り組みも行いました。</p>
<p>各取り組みの見せ方に関し、17あるSDGs目標のどれに紐づいているか、示すのも良いのではないか。</p>	<p>〈検討中〉 次期計画では、基本目標ごとにどのSDGsのゴールに紐づいているのかを示し、繋がりがわかりやすいように表記します。</p>
<p>ホームページやSNS等を活用した取り組みを積極的に展開してもらいたい。特にSNSに関しては発信したい情報なども事業者や団体と連携することで発信力や拡散力を高めていくことができれば、町田市民も情報をキャッチしやすく、より効果的な取り組みになるのではないか。</p>	<p>〈検討中〉 SNSについては、次期計画でも「SNS等のフォロワー数」を成果指標と設定して力を入れていく取り組みです。引き続き、より効果的な発信方法を検討し、多くの方に見ていただけるコンテンツとしていきます。</p>
<p>市民アンケート結果の環境に配慮した行動を行えない行わない、行うのが難しい理由で「環境問題の現状がわからない」「何をすればよいかわからない」「行動による効果がわからない」と回答される方々へのアプローチ方法を深掘りしていくことができれば、環境に配慮した行動への協力者が見込めるのではないか。</p>	<p>〈検討中〉 環境を配慮した行動を行えない行わない、行うのが難しい方々については、より環境について触れられる機会を広げていくため、アプローチ方法を引き続き検討していきます。</p>
<p>子ども向けの環境学習プログラムの企画・実施において、市内環境団体と連携することで更なるプログラムの充実を図ってはどうか。</p>	<p>〈検討中〉 子ども向けの環境学習プログラム等のさらなる充実のため、市内団体との連携・協働の強化に向けた検討及び働きかけを行いました。次期計画内でも引き続き検討をしていく予定です。</p>